

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 橋本 悟						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 1) 簡単な定量分析・定性分析の手法を学習する。 2) 各自でテーマを決めて、そのテーマについて定量的・定性的分析を行う。 3) 分析結果をもとに卒業論文を作成する。							
〔演習内容〕 前半(春学期)は、分析手法の学習とその知識を用いて簡単な分析を行う。 6月ごろまでは、最小二乗法などの基本的な定量分析の手法を身につける。その後、各自で研究テーマを決めて、その研究テーマについてデータ収集を行い、そのデータを用いて定量分析を行う。適切なデータが入手できない場合は定性的な分析をする。分析結果を考察し、それをプレゼンテーションすることでメンバーから意見をもらい、それを反映して研究のレベルアップを目指す。 後半(秋学期)は、前半の分析結果を十分に考察して卒業論文を完成させる。前半の研究内容をさらにレベルアップさせて、論理的な流れで文章の作成をする。10月頃までに分析を終了させ、11月末を目処に十分な考察を行う。12月以降は論文執筆に専念する。基本的には、プレゼンテーションを繰り返しながら卒業論文を完成させることになる。また、随時、個別に論文のチェック等も行う。							
〔科目の到達目標〕 1) 簡単な定量分析・定性分析の手法を身につける。 2) 定量的・定性的分析ができるようになる。 3) 卒業論文を完成させる。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○			○		○	○	
〔前提条件〕 Word・Excel・PPTの基本的操作は必要である。また、マイクロ経済学、マクロ経済学、産業組織論の知識があることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業論文の提出に加えて、分析能力・プレゼンテーション能力なども総合的に評価する。							
〔教科書等〕 使用しない							
〔実務経歴〕 なし							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
第1回	ガイダンス(前半の方針の確認) 簡単な経済学の復習など						
第2回 から 第5回	政府や地方自治体のHPなどから適切な資料や統計データを入手する。 エクセル等を用いてデータを加工して、必要な分析を行う。 データが入手できない場合は、事例を集めて分析を行う。						

第 6 回 から 第 15 回	個別に分析して、その結果をプレゼンする。 プレゼンに対して議論をする。 議論で得た知見をもとに、内容を改善してプレゼンをする。
第 16 回	ガイダンス(後半の方針の確認) 夏休みの課題の確認など
第 17 回 から 第 25 回	個別に分析をして、その結果をプレゼンする。 プレゼンに対して議論する。 議論で得た知見をもとに、内容を改善してプレゼンをする。
第 27 回 から 第 30 回	卒業論文を完成させる。 場合によっては再度プレゼンをして周りの意見を聞く。